

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	文化財情報発信事業			事業番号	12-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部	谷亀 博久	教育総務課歴史文化担当	立花 実	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち		
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり		
		施策展開の方向	2	いつまでも学び生きがいがあるまちをつくる		
		施策	12	歴史と文化遺産の継承		
予算事業名	文化財ホームページ情報発信事業費					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成20年度	～	終了年度	-	
関連法令等	文化財保護法、神奈川県文化財保護条例、伊勢原市文化財保護条例					
国・県の計画等	かながわブランドデザイン実施計画、にぎわい拠点づくり(大山地域)	計画期間	-			
関連個別計画	伊勢原市教育振興基本計画、伊勢原市歴史文化基本構想	計画期間	平成22年度～平成29年度			
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	伊勢原市域の文化財に関する情報を早く、多くの人に提供するためには、インターネットを利用した情報発信が有効です。平成20年に開設した「いせはら文化財サイト」は、伊勢原の歴史や文化財に関する情報ツールとして、定着してきたと考えられます。					
目的 (何をどうしたいのか)	文化財をより積極的に活用していくために、インターネットを利用して、収集した資料、データを広く公開し、関連する情報の発信を行います。市民に地域資産としての文化財の価値と意義の理解を促し、市民が地域への関心を高め、文化財に関する各種イベントへの参加等、地域活動の活性化を図ることを目指します。					
主な対象 (誰・何を対象に)	市民等、文化財所有者、保護団体					
事業内容 (手段、手法など)	・歴史や文化財を通じた本市の魅力を発信するため、平成20年度から公開している「いせはら文化財サイト」の掲載内容を充実させ、利用者の立場に立った見やすいホームページとします。					
事業行程	項目	年度		28年度	29年度	
		文化財ホームページ機器リース契約	リース契約継続	リース契約継続	リース契約継続	
	文化財ホームページ内容更新・追加	必要に応じた掲載内容の更新	必要に応じた掲載内容の更新	必要に応じた掲載内容の更新		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		28年度	29年度
	ホームページの掲載メニュー数		10メニュー	13メニュー	13メニュー	


 事業実施 (Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	新規メニューの検討を進めながら、現行の内容充実を図り、閲覧者層の拡充の工夫をしていきます。また、掲載内容の英語化について検討していきます。			
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容	
実施結果	項目	年度		
		28年度	29年度	
	文化財ホームページ機器リース契約	リース契約継続	リース契約継続	
	文化財ホームページ内容更新・追加	必要に応じた掲載内容の更新	内容を更新しながら、新たにメニューをひとつ追加	
実施した取組の内容	新たなメニューとして、日本遺産認定を受けて作成したプロモーション映像を公開するための「文化財映像ライブラリー」を追加し、また、2メニューの英語化に取り組みました。			
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度	
			28年度	29年度
	ホームページの掲載メニュー数	10メニュー	14メニュー	15メニュー

コスト	年度		28年度 実績				29年度 実績				
	事業費合計 (a)		236	千円	235	千円					
	内訳	国県支出金 ①	0	千円	0	千円					
		地方債 ②	0	千円	0	千円					
		その他特財 ③	0	千円	0	千円					
		一般財源 (a)-①-②-③	236	千円	235	千円					
	国県支出金の内容										
	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期						
		その他									
	人件費	正規職員	0.15	人	1,298	千円	0.15	人	1,310	千円	
		その他の職員	0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円	
		人件費合計 (b)	0.15	人	1,298	千円	0.15	人	1,310	千円	
	トータルコスト (a)+(b)		1,534	千円	1,545	千円					
	単位当たりコスト	対象数	ホームぺージの閲覧件数		単位	ホームぺージの閲覧件数		単位			
		対象数	8,066	件	6,531	件					
総事業費 / 対象数		190	円	237	円						

評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	新メニューを一つ加え、大きなメニューは目標を越えて15メニューとなりました。 年間のページビュー数は、トップページの比較では減少していますが、各ページの累計では昨年度を上回っています。 一方で、一部のメニューについては、更新の遅れが見られました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	A	他都市の事業内容等	新メニューとして日本遺産のプロモーションや文化財修理の状況等、映像情報を加えました。個々の映像については、貴重な記録であるとともに、文化財や地域の魅力を表すものとなり、発信する情報の幅を広げ、より視覚に訴えるものとなりました。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	新メニューに映像を加えたことで、視覚と聴覚、さらに動きのある印象的な情報提供が可能となりました。それぞれのページのページビュー数には、トップページの数値を越えるものもあり、個別メニューへの関心の高さがうかがえます。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	職員によるホームページ管理により、効率的な運営を図っています。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	職員によるホームページ管理のため、随時の更新が可能な反面、作製に手間のかかるページについては、情報更新が滞ることがありました。メニューについては、計画どおりに新規作成されていますが、見やすさを考え、統合、整理を図る必要があります。また、海外への情報発信へ向け、ホームページの英語化を進めていく必要があります。
次年度以降の取組の方向性	メニューのうち、個別に翻訳が必要な7メニューのうち、2メニューについて英訳を行いました。今後も継続して英訳を進めていきます。メニューについては見やすさを重視して整理を図り、また、映像コンテンツの制作等により、それぞれのメニュー内容の充実を図っていきます。
所管部長による総評	市内に所在する歴史・文化遺産や認定された日本遺産の価値と意義の理解を促進し、市民に地域への関心を高めていただくとともに、市外から来訪者の増加を目指し、「いせはら文化財サイト」のさらなる充実と迅速なデータ更新、使いやすさの向上を図る必要があります。また、海外への情報提供を図るため、引き続き、英語表記を進めて欲しい。